福岡市 Well-being＆SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社ピースペース
代表者名	川﨑　慧
所在地	812-0006 福岡市博多区上牟田 1-3-13-501
電話番号	090-8504-4650
ホームページ	

Well-being 向上に向けた取組み	従業員の労働環境自由化を進めるため、フレックスタイム制、テレワークの環境整備に取り組んでいる。 自社の取り扱う商品およびサービスを、産業廃棄物の削減やリサイクルに重点を置くエコ事業にシフトしている。		
アンケート実施	○	**アンケートの社内共有**	○

SDGs達成に向けた取組みチェックシート

カテゴリ	チェック項目	3側面該当			具体的な取組	関連する主なSDGs															
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。		○	○	・多様な人材が活躍できる職場環境づくりを促進している。 ・ご高齢者の雇用と、勤務しやすい環境づくりを推進しています。 ・製品やサービスのご利用説明を多言語表記やシンプルな図式化にすることで、直感的な理解とご利用を推進している。 ・多様な人材が十分に活躍できるよう、就労マニュアルの多言語表記や簡単な日本語による大きな文字での表記にすることで円滑なコミュニケーションを推進している。					○			○		○							
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。		○	○	・中高年者の採用を積極的に行っている。 ・年齢、身体の状況を問わない多様な人材を募集し、職場で活躍できる取組みを推進している。 ・多言語表記や簡易的な日本語のマニュアルにて、外国人従業員とも柔軟なコミュニケーションを取ることが出来る職場環境を整備している。					○			○		○							
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。		○	○	・ハラスメント対策窓口を設置し、健全な業務環境を維持している。 ・人権問題やハラスメントの防止について定期研修を全従業員に対して実施している。					○			○		○						○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。		○	○	・勤務時間をタイムカードで管理し、適切な休憩を取るよう指導している。 ・残業をしないよう指導している。 ・従業員のメンタルヘルスを健康に保つよう、役員をはじめ全従業員で風通しの良い職場環境を維持している。 ・メンタルヘルスに関する研修を定期的に行っている。 ・健康投資として、健康診断の支援や、案件の区切りにはレクリエーションを行い、日々の活力を向上させることによって仕事における生産性を上昇させている。			○		○			○									
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。		○	○	・取り扱う商品やサービスに対する知識や技術を磨くための講習を月ごとに実施している。 ・各部門ごとにインターンシップを受け入れ、職場体験をして頂く学びの場を提供している。 ・教育マニュアルをカテゴリーごとに時系列で理解できる映像として策定し、新人従業員や中途採用従業員において活かしている。				○	○			○	○								
環境	**【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】** ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・自社の業務自体が産業廃棄物を削減することやリサイクルを主としているため、役員を含む全従業員への廃棄物、有害化学物質に対しての知識や管理教育を重点的に行い、実行している。 ・身近な事務所や会議室でのゴミ分別、リサイクルから徹底している。 ・使い捨てになる箸やコップは使用していない。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・省エネルギーを意識し、冷暖房の使用抑制などクールビズ・ウォームビズを行っている。 ・自社の全照明をLED照明にしている。 ・公共交通機関による移動を従業員に推進している。							○					○	○				
環境	**【生物多様性、天然資源への配慮】** ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・定期的に自社周辺地区や海岸の清掃を行い、生物多様性や環境の保全に努めている。 ・地産地消を意識するとともに、天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる。 ・不法投棄を防止し、リサイクルへ繋げる取り組みを社外へ公言し、実行している。						○						○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・自社の全蛇口に節水コマを設置し、少ない水量を有効利用している。 ・全従業員への教育プログラム内に節水意識を高める取組みを組み込んでいる。 ・随時、節水を従業員に促している。						○											
製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。		○	○	・自社の製品やサービスの安全性や品質向上のため、外部チェック機関の監査を入れている。 ・顧客満足度アンケートを実施、集計して役員定例会にて共有している。 ・カスタマーサポートセンターを設置し、リアルタイムで顧客の問い合わせやトラブル対応に答えている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・様々な社会課題とその解決策を定例会で模索、随時実行している。 ・産業廃棄物を削減しリサイクルへと繋げるために、各業者様への呼びかけ、賛同頂き、パートナーシップを組んでいる。 ・製品・サービス説明を多言語化、直感的な図式化にすることで、誰もが理解し使いやすいよう配慮している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している。		○		・個人情報の取扱いルールを明確化し、定期研修にて全従業員に教育している。 ・セキュリティに関する知識を学ぶことを推奨し、支援と奨励を行っている。 ・個人情報を適切に取り扱うため、データベース用ワークステーションを専門知識を持つ管理者のみ扱うことの出来るルールとしている。																	○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。		○		・法令遵守の考え方を社内に浸透するため、定期研修にて全従業員への説明と理解の上、徹底遵守を行っている。 ・法令順守を教育マニュアルの最重要事項として、人材教育期間から教育を施している。 ・法令遵守、コンプライアンスに基づくサービス利用規約であるよう、顧問弁護士の確認を必ず受けている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。			○	・代表の経営理念を事務所や会議室に掲げ、定例会の開始時に全従業員へ説明している。 ・毎月の経営目標をたて、定例会時に発表、説明にて情報共有しており、その進捗もいつも全従業員が確認し、目標に向かうことの出来る組織づくりを行っている。								○	○									○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・人材育成期間に緊急マニュアルを用いての教育を行い、また定例会においても確認を行っている為、もし事故や災害が発生した時の行動を全従業員が把握している。 ・緊急時連絡体制の明確化のため、緊急連絡網を掲示している。 ・代表、取締役をはじめ、各部署の管理職の後継者育成を行い、適切な指導を行っている。									○		○				○		